

The Great Scene of Shiretoko

発行：網走南部森林管理署 ウトロ森林事務所

森林官・グリーンサポートスタッフ（GSS）

羅臼岳（岩尾別ルート）

（標準コースタイムで頂上往復9時間くらいかかります）



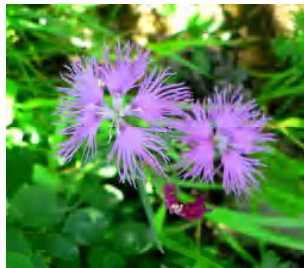
残雪状況

今年は雪解けが遅く、大沢には雪渓が残っています。アイゼンなどの携行をお勧めします。

最近雨の日が続いているため、登山道にぬかるむ箇所がでてきています。ぬかるんでいるところや平らな石の上に泥が乗っているようなところは、大変滑りやすくなっています。足元にご注意ください。



モイワシャジン



エゾカワラナデシコ

標高の低いところでは、早くも夏の終わりに見られる花が咲き始めました。

極楽平から見える羅臼岳山頂です。この頂きを目指して頑張って登ろう！と元気が出る眺めです。

針広混交林帯

三ツ峰付近でクマが目撃されています。クマを見たら静かにその場を立ち去ってください。

～3つのお願い～

- ☆登山道にはトイレがありません。携帯トイレを持参してください。
- ☆植物を守るため、登山道以外の場所を歩かないでください。
- ☆登山道や植生の破壊を防ぐため、登山用ストックのゴムキャップをつけて下さい。

この花ななに? その1



☆ヒント☆

★上の写真のように、足元一面に咲いています。

★フレペの滝や羅臼岳などウトロの多くの場所でみられます。

☆答え☆ ナミキソウ

(シソ科の多年草で、海岸に生えることから「波来草」と名付けられたとか)

出典：新北海道の花 北海道大学出版会 2007

この花ななに? その2



☆ヒント☆

★茎や葉にトゲがたくさん
★赤紫色の花が咲きます

★道路沿いなど日当たりがよい所に見られます

☆答え☆ アメリカオニアザミ

(人の活動によって知床に持ち込まれた外来種です。世界遺産としての景観を保つためにフレペの滝付近では環境省と合同で抜き取り作業を行っています)

登山道の整備をしています

～複線化を防ぐ取組～

登山道の幅が広がってしまう現象をご存じですか?これは登山道が歩きにくいと、その脇の本来は登山道ではないところを通る人が増えていき、その踏み固めた後がいつのまにか登山道のようになり、登山道の幅が広がってしまうものです。この結果、登山道脇の植物を傷めたり、斜面が崩れて登山道が崩れ落ちてしまうことがあります。

今回の複線化箇所はこちら↓



←踏み固め→

←本来の登山道→

により広がった部分

このため、本来の登山道を歩きやすくするために、土嚢でステップを作り、踏み固め部分は枯れ枝を置いて自然な形で踏み込みを抑えるようにしました。

右側(山側)の登山道は木の根張りがあり歩きにくいいためか、谷側を多くの人が歩いて踏み固められてしまいました。一見左側の方が歩きやすいように見えますが、このままでは谷側に道が崩れてしまう恐れがあります。



(作業後)



(作業風景)

疲れてくると楽な道を選んでしまいがちですが、登山道を踏み外さないよう気を付けながら歩き、山に優しい登山を目指しましょう!